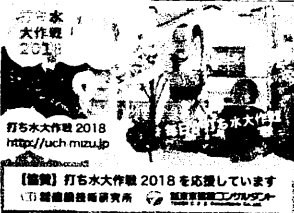


8月18日(土)

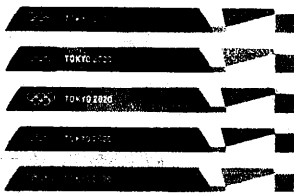
2018年(平成30年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1 100-9051 電話(03)3212-0321 毎日新聞東京本社



NEWSLINE

伝統色で五輪彩る 18



東京五輪・パラリンピックの装飾デザイン例を公表。日本の伝統色の「藍」「紅」など5色を活用した。

日本でも規制探る 2

環境省は17日、プラスチックの使用削減などを検討する委員会を初開催。委員からは国の規制を促す意見も。

優先バス デジタル化検討 4

東京ディズニーリゾートはアトラクションに優先入場できる「ファストパス」のデジタル化を検討する。

不正ワクチン 42人処分 6

習近平氏＝共同＝ら中国指導部は不正ワクチン事件で責任者ら42人の処分を決定。国民の批判をかむす狙いか。

韓国風メーク 10代に人気 13

小中学生の時から化粧をする10代の女子が目立ってきた。韓国風の「オルチャン」メークも人気が上がっている。

ゾルゲ事件 報道統制文書

旧司法省幹部手控え発見



ゾルゲ＝太田副道関係文書より(国立国会図書館蔵)

太平洋戦争前後に発覚した、20世紀最大の国際スパイ事件「ゾルゲ事件」を巡り、当時の司法省などが報道を厳しく規制した「新聞記事掲載要領」や、関係各省と発表の文書・公開範囲を折衝していた内部文書が見つかった。ソ連のスパイ網が国家の中枢にまで伸びていたことが判明する中、各省が都合の悪い表現を削除し、また事件の重大性の矮小化を図るなど、政府の思惑や、対メディア戦略が記されている。ゾルゲ事件の1次資料を集めた「現代史資料」(みすず書房)に未掲載のものも含まれる一般資料だ。

「4段組み以下、写真なし」

資料は事件当時、思想事案件などを担当した司法省刑事局第6課の課長だった太田副道(1903〜56年)が残した。関係者が国立国会図書館(東京都千代田区)の憲政資料室に寄贈した。ハトップ扱具ノ他特殊扱ヲ為サルコト、四段組以下ノ取扱ヲ為スコト、写真ヲ掲載セザルコト、ソルゲらスパイ網が逮捕されたのは41年10月。翌42年5月16日、司法省が事件一、発表文(司法省発表及当局談)以外三行サルコト、二、本件二回スル記事禁止並三其ノ一部解除ヲ為シタル事案三触レザルコト、三、記事ノ編集ノ刺戟的ニ三行サル様注意スルコト、例ハバ(イ)ハトップ扱具ノ他特殊扱ヲ為サルコト、(ロ)四段組以下ノ取扱ヲ為スコト、(ハ)写真ヲ掲載セザルコト

ソ連赤軍に所属しながら駐日ドイツ大使館顧問を務めていたリチャルト・ゾルゲが、ソ連に日本の機密情報を流したスパイ容疑で逮捕された事件。首相を務めた近衛文麿のブレーンで、元朝日新聞記者でもあった尾崎秀実(ほつみ)らの協力を得た。ゾルゲらの逮捕は1941年10月、敵しい報道統制が敷かれ発表は42年5月。ゾルゲ、尾崎は44年11月に処刑された。検挙人数は計35人にのぼり「日本近現代史上最大のスパイ事件」とも呼ばれる。



「国際諜報団を檢舉」首謀者内外五人名起訴。ゾルゲ事件を報じた、1942年5月17日付東京日日新聞2面。4段組み、写真を掲載しないなど政府の指示通りの扱いとなっている。

「重要機密事項の重要」という形容詞を削除する必要があった。外務省などの意見も反映されているとみられる。内部文書「外務省非公式意見」では「逮捕された西園寺公一」の肩書に「外務省嘱託」を削除するよう指示された。また「大審院検事局意見」では、報道に際して「現・毎日新聞」を「国際諜報団」を「検

「尾崎秀実とゾルゲ事件」(吉川弘文館)の書影がある。記述にも「渡り」とも「大海の木」……といった表現がある。思いがけないように「もっけの幸い」のものは「勿怪」または「物怪」ものけのことという。つまり怪か何かのしわざとしか思えないような悪逆をいうのだが、これが標準であり善良な人はたまたま▲大阪の富田林勾留されていて逃走した容疑者だ、まさに「もっけ」がなって逃がしてくれたような行きに驚いてはいないか。こののけ、その正体は警察の信れぬような手抜かりと怠慢に

「余録」 恨から善良な人 悔しいことが、世には悪事をなそうと 人にも幸運というも ある。記述にも「渡り」とも「大海の木」……といった表現がある。思いがけないように「もっけの幸い」のものは「勿怪」または「物怪」ものけのことという。つまり怪か何かのしわざとしか思えないような悪逆をいうのだが、これが標準であり善良な人はたまたま▲大阪の富田林勾留されていて逃走した容疑者だ、まさに「もっけ」がなって逃がしてくれたような行きに驚いてはいないか。こののけ、その正体は警察の信れぬような手抜かりと怠慢に

「余録」 恨から善良な人 悔しいことが、世には悪事をなそうと 人にも幸運というも ある。記述にも「渡り」とも「大海の木」……といった表現がある。思いがけないように「もっけの幸い」のものは「勿怪」または「物怪」ものけのことという。つまり怪か何かのしわざとしか思えないような悪逆をいうのだが、これが標準であり善良な人はたまたま▲大阪の富田林勾留されていて逃走した容疑者だ、まさに「もっけ」がなって逃がしてくれたような行きに驚いてはいないか。こののけ、その正体は警察の信れぬような手抜かりと怠慢に

スパイ浸透 矮小化へ走る

ゾルゲ事件文書 各省が修正要求

△司法省「閣議中第一枚六行目(略)ヲ削除セラレタシ」
 △第二枚目ノ五ヲ削除セラレタシ

日本政府を震撼させた国際スパイ事件「ゾルゲ事件」は、1942(昭和17)年5月16日に報道発表された。今回見つかった太田耐造関係文書のうち、同14日付の「外務省非公式意見」では、同省が内務省の報道発表草案(「国際諜報団事件に関する司法当局談」)に細かな意見をつけている。草案は随時更新され、それぞれ「厳秘」「極秘」の印が押されている。



ゾルゲと共に逮捕された元朝日新聞記者、尾崎秀実は近衛内閣の囑託も務めた

タイプまたは手書きで修正を頼ね、文章を消したり書き足したりした推敲の形跡が生



推敲や手書きの跡が生々しいゾルゲ事件の発表草案。極秘の印も見える＝東京都千代田区の国立国会図書館で、根岸基弘撮影

々しい。細心の注意を払ったことがうかがえる。

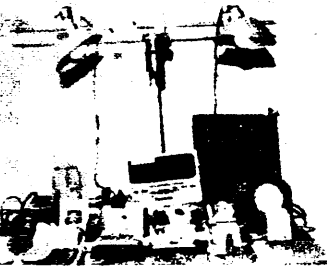
ゾルゲは、近衛文相首相のブレーンで中国通として知られていた尾崎秀実ら日本人の協力者を得て、政権中枢にまで伸びるスパイ網を構築し、極めて重要な情報をモスクワに送り続けた。たとえば41年、ドイツがソ連に攻め込む準備をしていることを指摘。スターリンは無視したが同年6月、ドイツはソ連に侵攻した。またドイツの同盟国だった日本政府では北進してソ連を攻める案と、南方に進出する案があったが、結局後者を選んだ。ゾルゲは日本が北進しないとの情報をお使館筋や尾崎から得てモスクワに送っていた。日本の北進がないこと

を知ったソ連は、極東の兵力をドイツとの西部戦線に回すことができた。

重要な情報を盗まれた外務省は、その大きな失点を隠すためか、内務省の草案をみて削除すべき部分を伝えていた。「本諜報団の暗躍による秘密情報漏洩を想像すれば愕然とする」ゾルゲ、尾崎は諜報活動にとどまらず、我が国の政策を左翼に有利に策動していたなどと書及した部分だ。

内務省は当該箇所を削除した。また「未曽有の戦慄すべき……」の検査「を削り、△政治枢要部等に接近」を△政界上層部等に接近▽と修正した跡もみられた。関係各省が責任回避と自己保身のため、事件を矮小化する姿が浮かび上がる。ゾルゲ事件研究に詳しい太田尚樹・東海大名義教授は、「時局の重要性にかんがみ、被害の重大性を世間から隠蔽する意図が見える。また、一層の左翼思想への取り締まり強化の動きも読み取れる」と指摘する。

- ゾルゲ事件を巡る年表
- 1930年 ソルゲが中国・上海で朝日新聞記者・尾崎秀実と出会う
 - 33年9月 ソルゲ、特派員として東京に潜入
 - 34年5月 日本で尾崎と再会
 - 37年7月 日中戦争開戦
 - 38年7月 尾崎、朝日新聞社を退社し近衛文相内閣囑託に
 - 40年9月 日独伊三国同盟
 - 41年6月 独ソ開戦
 - 41年10月 ソルゲ諜報団を一斉逮捕
 - 12月 太平洋戦争開戦
 - 42年5月 ソルゲ団の逮捕を報道発表
 - 44年11月 ソルゲと尾崎の死刑執行
 - 45年8月 敗戦



ゾルゲスパイ事件で使用された写真機など

また太田耐造関係文書には、同事件以外にも「次資料が含まれている。ゾルゲ事件」(平凡社新書)の書庫がある加藤哲郎、「橋大名義教授は、若い研究者たちによる、新時代の研究の宝庫だ。共同で解説すべき第一級の資料」と話している。【欄外発行】